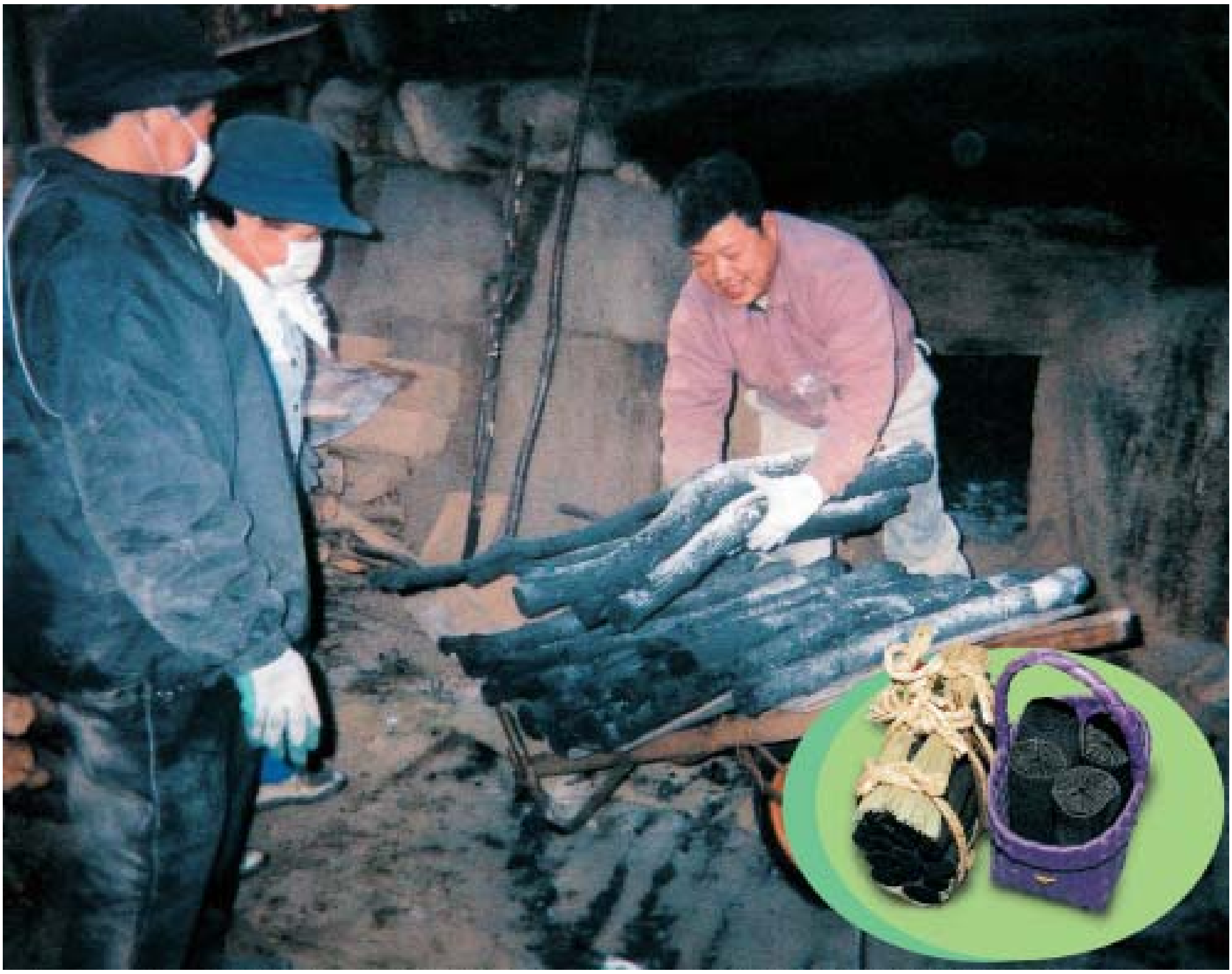
'03.3

毎月１回20日発行　定価　１部60円
発行所　兵庫県商工会連合会
発行人　会長　土谷正男
神戸市中央区花隈町６の19
☎神戸(371)1261㈹〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人　澤田功
印刷所　大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります
第　547　号

兵庫県 商工連会報

（題字は井戸知事）

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



主な行事予定

４月のこよみ

14日㈪　第一回政策研究会（県商工会館）
18日㈮　県女性部理事会等（県商工会館）
22日㈫　監事会（県商工会館）
24日㈭　県青年部理事会等（県商工会館）
30日㈬　正副会長・常任理事会（県商工会館）

兵庫ものづくり

『一庫炭（ひとくらずみ）（菊炭）』

川西市の一庫炭は、切り口が菊の花柄のように美しく、別名「菊炭」とも呼ばれている。火付きと火持ちが良く、立ち消えもなく、感じの良い白灰が残ることから、上質のお茶席用の炭として珍重されてきた。同市黒川地区では、炭の原材料となる良質のクヌギが入手しやすく、室町時代から炭焼きが盛んに行われていた。最盛期には約五十の窯があったが、炭需要の減少と周辺のニュータウン化で廃業が相次ぎ、今では数基の窯だけが残り、伝統の技が継承されている。写真は今西悟さん。

■提供　川西市商工会

〈青年部・女性部幹部講習会　同友会経営セミナー〉

事例発表や　パネルディスカッションなど実施

県商工会青年部連合会・同女性部連合会及び商工青年同友会は、二月五日・六日の両日、神戸ポートピアホテルで「青年部・女性部幹部講習会　同友会経営セミナー」を開催した。

▲参加者は約260人

例年、青年部と女性部は別々に講習会等を実施していたが、今回初めて合同で実施し、約二百六十名の参加者があった。

当日は、まず「日本経済の行方」をテーマに中京大学教授の水谷研治氏より、世界の中で日本の経済は今後どうあるべきか等わかりやすい話があった。

その後、十三年度、十四年度の県青連・県女性連主張発表大会で最優秀となった四名による事例発表や、三分科会に分かれたパネルディスカッションなどを実施。青年部・女性部の代表者がパネラーとなり「組織のあり方について」や「事業経営について」、「広域事業への取り組みと市町村合併について」を議論。継続した活動の重要性やいろいろな事業を行う上での合意形成の苦労、前向きな意見などが交わされた。

▲青年部と女性部が合同で開催したのは初めて（神戸ポートピアホテル）

二日目は、三つの会場に分かれ「体と心の健康」をテーマに健生会・山本卓会長、「お箸一膳にかけた人生」をテーマに箸匠せいわ・木越和夫社長、「全ての舵はお客様に向かって」をテーマに(株)はや・速水宣二社長が講演。参加者はそれぞれ自分の目的にあった講習を受講。初めての試みであったが、有意義な講習会となった。

▲事業経営をテーマに討論（第２分科会）

十五年度新規事業など協議

〈第九回商工会政策研究会〉

県商工会連合会では、二月三日、県商工会館において、「第九回商工会政策研究会」を開催した。

協議内容は、

・職員協議会研修費への拠出（案）について
・十五年度新規事業について
・職員研修の改善点について

など。

職員協議会研修費への拠出については、県商工会職員協議会の各支部等が行う研修を充実させ、自己研鑽の機会を拡大強化することを狙いに、商工会から手数料収入の一定額を拠出する提案。職員協議会でも検討することとした。

来年度新規事業については、地域における教育力高揚対策や成長する企業の基盤をつくるブロードバンド環境の整備推進などの事業について協議し、各委員の理解を得た。

▲ブロードバンド環境の整備推進へ

職員研修の改善については、来年度、資質向上対策の強化を図るため、県連合会の研修体系を見直し、研修の方法や開催場所、講師の選定方法の改善点について協議した。

これらの協議を踏まえ、来年度事業計画案を、成案に向けて精査することとした。

なお、今期の政策研究会は今回をもって最終となった。

日本を代表する
新しい保険会社の誕生です

安田火災と日産火災は、2002年７月１日合併し、
「株式会社損害保険ジャパン」へ。

損保ジャパン

合併に向けての論点整理
―第2回商工会合併等問題研究会―

県商工会連合会は、二月十四日、県商工会館で『第二回商工会合併等問題研究会』を開催した。

最初に瓦田太賀四委員長（神戸商科大学教授）より挨拶の後、次の内容について協議した。

（1）最近の市町合併の動き

（2）各ブロックの商工会合併に向けての取り組み状況

（3）商工会法改正（平成十三年五月）の概要

（4）商工会の合併に向けての論点整理

商工会合併に向けて取り組む課題は多く、委員会での主な協議内容は次のとおり。

▲最近の市町合併の動きの報告も

・商工会は何故合併すべきなのか、合併によって、会員のために何ができるのか等が明確でない

・合併を機会に次の時代に役立つ組織になるために何をすべきか。会員のためになる商工会を目指し、職員の資質向上が必要である

・商工会にも格差があり、均等配分を改め、重点的な補助や支援体制を取るべき

・この研究会で、県連合会が商工会合併に向けての方向性を示すべき

以上の議論を踏まえ、次回の研究会までに資料を整え、県連合会の指導方針等について検討することとした。

なお、第三回研究会は三月二十四日に開催予定。

特別掛金率の決定へ
〈職員退職金共済運営委員会〉

県商工会連合会では、二月十日、県商工会館において、「商工会職員退職金共済運営委員会（小田脩造委員長）」を開催し、同委員会委員や県連合会事務局ら十二名が出席した。

この委員会は、兵庫県商工会職員退職金共済制度の適正な運営を図るために設置されたもので、県連会長から諮問のあった「平成十四年度特別掛金率の決定について」を審議した。

協議の結果、商工会間における掛金の均衡を図る観点から、平成十三年度の掛金算出基礎本俸が前年度と比較し、八％以上の昇給（ベースアップ含む）があった職員を特別掛金の対象とした。

続いて、「商工会職員退職金問題小委員会（石原利男委員長）」での検討状況について報告があり、その後、退職金支給率や既得権の問題などについて活発な意見交換が行われた。

▲退職金支給率など活発に意見交換

≡商工安全共済≡
―ブロック別研修会で商品説明―

県商工会連合会は、本年４月より、「商工安全共済」の募集を開始する。

この共済の円滑な募集を行うため、県連合会は、県下商工会の実務担当者を対象に、同共済の取扱要領や商品内容の習熟、また、商品説明に係るQ&Aを中心としたブロック別研修会を開催した。

１月24日（但馬地区）　同27日（西播磨地区）
同30日（淡路地区）　同31日（阪神地区）
２月３日（中播磨地区）　同５日（丹波地区）
同７日（東播磨地区）

なお、今後のスケジュールとして、３月20日開催の県連合会臨時総会終了後、県共済との間で「業務委託契約書」を締結し、その後、県連合会と各商工会との間で「復託契約書」を締結することになる。

Time is Money. ―時は金なり―
あなたの時間を有効に
たんぎんダイレクト　インターネットバンキング
モバイルバンキング
テレホンバンキング
地域とともに発展する
但馬銀行
http://www.tajimabank.co.jp/

悔いを残さず、愛をのこすために…。
相続と遺言のことは、
お気軽にUFJ信託銀行へ。
こたえていくチカラ。
UFJ信託銀行
http://www.ufjtrustbank.co.jp

兵庫県商工会青年部・女性部連合会
創立35周年記念大会
～21世紀の新たな一歩を踏み出す～

【と　き】2003年２月６日(木)
【ところ】神戸市・神戸ポートピアホテル

▲開会宣言する
秋山県青連常任理事

県商工会青年部連合会（堀成志会長）・同女性部連合会（稲田富子会長）は、二月六日、「神戸ポートピアホール」を会場に創立三十五周年記念大会を挙行。商工会青年部・女性部として果たすべき役割を再確認するとともに、更なる飛躍を誓い、新たな一歩を踏み出した。

スローガンとして、『羽ばたこう我等、地域を越えたネットワークづくり』『環境に心する今、女性の力が活される』を掲げ、記念式典と記念講演会の二部構成で行った。

大会当日、県下各地から約七百二十名の青年部員・女性部員、商工会関係者が出席。

▲記念大会は、式典と講演会の２部構成で実施。「奉仕とふるさとづくり・人づくり　地域づくり」「地域に貢献する企業づくり」を大会テーマに県下各地から約720名が出席、更なる飛躍を誓った。

▲式辞を述べる土谷県連会長（上）、堀県青連会長（右）、稲田県女性連会長（下）

須田県青連副会長と藤本県女性連副会長との総合司会で記念式典は幕を開け、秋山県青連常任理事の開会宣言、国歌斉唱と続いた。青年部・女性部の誓いの言葉は、西田県青連副会長と羽渕県女性連副会長それぞれの唱導で行われた。また、物故者に対し追悼の意を込め黙祷を捧げた。

式典では、土谷県連会長、堀県青連会長、稲田県女性連会長がそれぞれこれからの積極的な活動に向け式辞を述べた。

次いで、井戸県知事は、「三十五年間の努力のうえに新しい視点に立った取り組みで、未来を切り拓いてほしい」と励ましの言葉があり、また、近畿産業経済局中小企業課の山本課長補佐（局長代理）からの祝辞もあった。

記念大会次第

Ⅰ．第一部（記念式典）〈13：00～14：00〉

1．開会宣言
2．国歌斉唱
3．誓いの言葉
4．物故者追悼
5．式辞
　兵庫県商工会連合会会長
　兵庫県商工会青年部連合会会長
　兵庫県商工会女性部連合会会長
6．兵庫県知事祝辞
7．近畿経済産業局長祝辞
8．表彰・感謝状贈呈
9．謝辞
10．来賓紹介
11．祝電の披露
12．閉会の言葉

Ⅱ．第二部（記念講演会）〈14：15～15：45〉

テーマ　「これからの生き方」
　～参画と協働の時代に向かって～
講　師　貝原　俊民 氏（前兵庫県知事）

万歳三唱

閉会宣言

続いて、近畿経済産業局長、兵庫県知事、県連会長並びに県青連・県女性連会長の表彰と感謝状の贈呈があり、三十二団体二百四十九名がそれぞれ受賞。

受賞者を代表して、市川町商工会青年部の津田隼人氏が「今後も地域振興と地域経済の活性化に向け邁進する」と謝辞を述べた。

▲式典では、近畿経済産業局長、兵庫県知事、県連会長等の表彰式も挙行。32団体と249名が受賞する。

続いて行われた第二部は、前兵庫県知事の貝原俊民氏を迎え「これからの生き方~参画と協働の時代に向かって~」をテーマに記念講演を実施。「二十一世紀の兵庫を希望と活力ある魅力溢れる地域にしていくため、地域の課題を自らのものとして受け止め、責任を持ってその解決に取り組んでほしい」と熱弁。また、地方分権についても触れ、「地域にとってふさわしい権限と責任を持つことより、これからの時代がある」と述べた。

最後に、県商工青年同友会の朝生会長の先導により万歳三唱、梅本県女性連常任理事が閉会宣言し、記念大会の幕を閉じた。

また、当日、ポートピアホール入り口ホールでは、催事コーナーを設置。川西市商工会をはじめ九商工会地区からむらおこし事業で開発された特産品や、地域の特産品等の販売が行われた。特に今年はNHKの大河ドラマで宮本武蔵が放映されており、佐用町は、青年部・女性部・観光協会が、「武蔵グッズ」の販売やPRを行い、式典を大いに盛り上げた。

▲来賓祝辞を述べる井戸県知事(右)と近畿経済産業局中小企業課の山本課長補佐(左)

▲土谷県連会長から表彰を受ける

◀貝原前県知事による記念講演も開催

▲朝生同友会会長の先導で万歳三唱

式　典　趣　旨

商工会青年部並びに女性部は、商工会の内部組織として、地域商工業発展のための商工会活動の重要な一翼を担うとともに、少子高齢化、高度情報化への対応をはじめ、環境、福祉介護問題への取組みなど、青年部・女性部に与えられた役割である社会一般の福祉の増進に資する事業の推進者として期待されているところである。

こうした中、本年は、兵庫県商工会青年部・女性部連合会創立35周年の記念すべき年に当たり、青年部・女性部の果たす役割を再認識し、未来に向けた活力ある社会を創出するため、商工会のネットワークを駆使し、地域商工業の明るい未来を創造しなければならない。

ここに、県下の商工会青年部・女性部の代表が一堂に会し、記念式典を開催し、今日まで両部の発展に尽力された功労者等の功績をたたえるとともに、より一層の連帯と英知の結集を図り、地域の振興と発展に寄与せんとするものである。

毎月12日は　育児の日
いく=1　じ=2
みんなで考え　みんなが支える　みんなの子育て
「すきっぷ21－ みんなの子育て」支援会議／神戸新聞社
(兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、兵庫県医師会、兵庫県歯科医師会、兵庫県商工会連合会、兵庫県商工会議所連合会、サンテレビジョン、AM神戸、神戸新聞厚生事業団)
すきっぷ21 みんなの子育て
兵庫県商工会連合会は「育児の日」運動を応援します。

商工会だより

“厄除け街道”が出現
ー 陣屋跡もライトアップ ー
〈柏原町〉

▲地元商店街やケヤキ並木にイルミネーションが点灯し、柏原の夜を彩る

二月九日、柏原町で光をテーマに「厄除け街道ー光のページェント」が開催され、地元商店街やJR柏原駅前のケヤキ並木十七本にイルミネーションが点灯した。

これは、柏原町商工会（土谷正男会長）が中心となり、北近畿随一とされる柏原八幡神社の厄除大祭（二月十七、十八日）の事前イベントとして、初めて企画実施したもの。

会場では、同女性部（荻野典子部長）や料飲組合がボタン鍋や餅を千食用意、来場者に振る舞い、好評を得た。中高校生のマーチングバンド部による演奏に続き、電飾板は一斉に点灯、丹波の山並みと八幡神社三重塔をデザインした電飾の門が出現し、道行く人々を和ませた。

また、柏原藩邸や長屋門、太鼓やぐら、木の根橋などもライトアップされ、幻想的な雰囲気を漂わせていた。

この電飾やライトアップは、二月末まで柏原の夜を彩った。

▲幻想的な雰囲気の柏原藩邸

新春時局講演会
MKタクシーの強さを探る
〈西播磨地域振興協議会〉

西播磨地域商工会振興協議会（清水精一会長）は、二月四日、兵庫県立先端科学技術支援センターで、新春時局講演会を実施した。

当日、MKグループオーナーの青木定雄氏を講師に迎え、『顧客第一主義を貫くMK商法』をテーマとした講演会。青木氏は、企業が地域に必要かどうかは、事業で地域に貢献しているかどうか、実際の行動によって判断されるとし、身体障害者の乗車優先運動、飲酒運転追放への取組みなどを話した。また、会社を変える基本は社員教育にあるという信念とその教育に投資を惜しまないという姿勢にMKタクシーの強さの秘密を垣間見せた。

なお、講演に先立ち、兵庫県自治賞表彰があり、緒方義則氏（新宮町商工会副会長）、福元武夫氏（三日月町商工会副会長）、廣岡皓三氏（安富町商工会副会長）の三名が表彰を受けた。

▲講演する青木定雄氏

フォーラム
女性経営者として資質向上
〈阪神七市一町商工会連絡協〉

二月四日、阪神七市一町商工会議所・商工会連絡協議会は、ホテル甲子園で、女性経営者の資質の向上を図ることを目的とした「阪神女性経営者フォーラム」を実施した。

講師は、吉本興業㈱事業開発室プロデューサーであり、また生涯学習開発財団の認定コーチとしても活躍の大谷由里子氏。

同講師は「会社ってなんやねんーみんなが主人公になれるー」をテーマに、「コーチング」という人材育成の手法や消費の中心的役割を担う女性の世代別消費動向を探るためのアプローチの仕方など、実際の具体例を用いて詳しく説明した。

出席者は、「コーチング」という人を認めて、引き出して、応援する「人の生かし方のテクニック」を理論的に学び、身近な相手に置き換えて考えるなど、女性経営者としてのマネジメント力アップに役立てることが出来た。

▲講演テーマは「会社ってなんやねんーみんなが主人公になれるー」

青年部35周年 女性部30周年
歴代部長に感謝状も
〈東条町青年部・女性部〉

東条町商工会青年部創立三十五周年、同女性部創立三十周年の記念大会が、二月十五日、同町文化会館で開催された。

第一部の記念式典では、商工会関係者など約百名が出席、青年部女性部活動に功労のあった歴代部長に感謝状を贈呈した。

両部にあっては、青年部の「東条川カヌー教室」、女性部の「黄色いハンカチ運動」などの事業により、地域の活性化や福祉の増進に大きく貢献、魅力あるまちづくりの推進役的存在ともなっている。この式典を機に更なる活躍が期待されるところである。

第二部の記念コンサートでは、マルチアーテストとしてTV・ラジオ番組で活躍の円広志氏を迎え、『円広志 With ドンガン隊アコースティックライブ』を開催。「夢・感動・人の温もりを求めて〜ハートフル・コミュニケーション〜」として企画したライブには、五百五十名の人々が詰め掛け、会場は満席となる盛況ぶり。楽しいトークと迫力あるライブは、不況の暗さも吹き飛ばし、来場者の一人ひとりに元気を届けた。

▲青年部・女性部は地域活性化の推進役として評価も高い

▲円広志コンサートは大盛況

公開講演会
市町合併問題を考える
〈朝来郡商工会青年部協議会〉

朝来郡商工会青年部協議会は、二月二日、あさご・ささゆりホールで、青年部公開講演会を開催、約二百名の来場があった。

当日の講師は、帝塚山大学政策学部の中川幾郎教授で、「○○市誕生！その時、私達は…」をテーマに市町合併問題を考えた。

同講師は市町村合併をめぐる最近の状況を説明し、合併の経済性・効率性を検証。この合併問題は、住民が主役となって取り組むことが大切で、自分達の住む地域の文化的基盤、環境空間的基盤や経済的基盤を再確認し地域アイデンティティを確立、強い自治体を作っていかねばならないと力説した。

▲合併の経済性・効率性を検証した講演会

お知らせ

兵庫県経営者共済協同組合は、平成十五年四月一日から、「兵庫県共済協同組合」に組合名称が変更となります。

短信

三原郡広域商工会活動推進協議会（藤江昭治会長＝三原町商工会長）は、二月七日に先進地視察研修会を実施した。テーマは、「広域連携・合併」で、平成十五年四月に行政が合併し、平成十六年に商工会の合併を予定している香川県の白鳥町商工会と岡山県商工会連合会の二ヵ所を視察した。参加者は、三原郡内四商工会の会長、事務局長、経営指導員と県連合会職員の計十三名。

〜成長し続ける企業経営をめざして〜
「顧客重視の仕組みづくり」による成長企業育成プログラム

平成14年度の「ひょうご経営革新賞大賞」受賞企業が決定しましたので、受賞企業の優れた経営の仕組みとそれを生み出した経営者の知恵を県内中小企業の経営者の方々に紹介し、自社経営の参考としていただくため、基調講演、受賞企業参加によるパネルディスカッション及び表彰式を開催します。

日　時　平成15年３月19日（水）　13:30〜16:30
場　所　新神戸オリエンタルホテル　９階　舞子の間
神戸市中央区北野町１丁目　TEL　078-291-1121
対　象　県内に事業所を有する企業
定　員　150名
参加費　無料
内　容

「表彰式」（13:30〜14:00）
ひょうご経営革新賞大賞　クリーンテックス・ジャパン（株）
「基調講演：経営品質向上で競争を勝ち抜く」（14:00〜15:00）
（株）リコー　審議役
ＣＳＭ本部副本部長兼ＣＳ推進室　室長　田村　均　氏
「パネルディスカッション：経営革新を進めるために」（15:10〜16:30）
コーディネーター：神戸大学大学院経営学研究科助教授　原田　勉　氏
パネリスト：クリーンテックスジャパン（株）代表取締役　福原　章　氏
（株）神島組　代表取締役　神島昭男　氏
（平成13年度ひょうご経営革新賞大賞受賞企業）
（株）六甲歯研　代表取締役　足立　勝　氏
（平成13年度ひょうご経営革新賞受賞企業）

［申し込み・問い合わせ先］
兵庫県産業労働部商工労働局経営支援課経営革新係
〒650-8567　神戸市中央区下山手通５－１０－１
ＴＥＬ　０７８（３６２）９１８４
ＦＡＸ　０７８（３６２）４２７４

『あったか滝野冬のまつり』人と人とのふれあいを演出
〈滝野町〉

▲滝野町の冬の一大イベントにと実施した「あったか冬まつり」。各種模擬店やハイキングなど多彩なイベントを同時開催。

二月二十三日、滝野町に新しい祭り『あったか滝野冬のまつり』が生まれた。

このまつりは、冬のこの時期、滝野町で個々に開催されていたイベントを中心に多彩な催しを同時に行い、地域の情報を発信できる冬の一大イベントになればと、滝野町商工会（藤井悦治会長）が実行委員会を組織し、昨年から計画していたもの。

「あったかな（温かな）人と人とのふれあい、滝野町にもこんなものがあったか（有ったか）」をテーマに取組み、第六回を迎えた蔵まつり、第十三回目となる滝野ハーフマラソンなど播磨中央公園をメイン会場に実施した。

▲〝となりのトトロ〟の大合唱

当日、朝から生憎の小雨がぱらつき、客足が心配されたが、町内外から約五千人の人々が詰め掛け、会場は大変な賑わいを見せた。

おまつりメイン会場では、あったかな人々のつながりを演出。商工会女性部や中学生ボランティアによる各種模擬店や、お土産コーナー、滝野温泉ぽかぽオリジナルグッズ販売、北播磨地域特産品販売、フリーマーケットなどがあり、会場を賑わせていた。

また、同町文化会館では「井上あずみファミリーコンサート」も開催、〝となりのトトロ〟の曲はみんなで大合唱、心がなごむコンサートとなった。

蔵まつり会場では、普段あまり見る機会のない酒蔵見学や、しぼりたての新酒の味と香りを楽しんだほか、菰樽巻きの実演や酒粕のつかみ取りなども行われた。

▲寒風に負けず滝野ハーフマラソン

滝野ハーフマラソンは、県立播磨中央公園内の園路を走る安全で快適なコースで行われ、親子づれなど約六百人が参加し、寒風のなか快い汗を流していた。

その他、ふるさとの野山や近隣市町を歩く月例ハイキングでは、同町役場庁舎前広場を出発地として、酒蔵見学もコースに取り入れられ早春の滝野路を満喫した。

今回、個々に実施されていたイベントを同日開催し、多くの人々の参加を得た。参加者それぞれが自分達の町を再発見する機会を提供できた手応えに、同商工会は、今後も地域に根差した冬の一大イベントとして定着させていきたいとしている。

▲掘り出し物も揃ったフリーマーケット

わたしたちジブラルタ生命が、
サポートいたします。
商工貯蓄共済制度
Gibraltar ジブラルタ生命

尼崎信用金庫
淡路信用金庫
神戸信用金庫
但馬信用金庫
但陽信用金庫
中兵庫信用金庫
西兵庫信用金庫
日新信用金庫
播州信用金庫
姫路信用金庫
兵庫信用金庫
（アイウエオ順）

〔信用金庫はますます便利になりました〕
「しんきんキャッシュカード」が１枚あれば全国どこの信用金庫をご利用いただいてもＡＴＭの入出金手数料はいただきません。